

## カムイワッカ地区における取組の進捗状況について

### トピック

#### 1. カムイワッカ部会の開催状況

- ・ 2024年12月19日にカムイワッカ部会（第22回）を開催。今年度の事業報告および本格実施に向けた2025年度の利用のあり方や運用スケジュール、2025年度以降の実施方針について協議した。

#### 2. 今後の予定

- ・ 6月頃にカムイワッカ地区利用適正化対策協議会を開催し、予算計画の承認を得る予定。
- ・ 7月1日より本格実施1年目となる運用を開始。試行事業において取り組みが不十分であった調査および検証を引き続き進める。

### 1. カムイワッカ部会の開催状況

開催日：2024年12月19日（木）

#### 議題1 2024年度カムイワッカ地区の運用状況と各事業結果について

詳細：別紙① 2024年度 カムイワッカ地区の運用状況と各事業の実施結果について

- ① カムイワッカ地区の運用状況
- ② カムイワッカ湯の滝利活用検討事業
- ③ 路線バス増便事業
- ④ 硫黄山登山道の利用実績
- ⑤ 知床ディスタンスキャンペーン

#### 議題2 道道知床公園線における工事の進捗について

網走建設管理部より、道道の落石防止工事の進捗状況を報告。当初、カムイワッカ以奥の工事は2025年度（令和7年度）をもって終了し、カムイワッカゲートの移設が行われる予定であったが、工期が延長された為、2025年度も2024年度と同様に、カムイワッカ橋周辺およびカムイワッカ以奥において、ロープ掛け工およびカムイワッカ橋左岸の擁壁工事を継続する。

#### 議題3 2025年度以降の事業の実施方針について（協議事項）

4年間にわたり実施したカムイワッカ湯の滝利活用事業（試行事業）の結果を総括し、調査・検証項目のうち未達成となった項目を今後の重点項目として位置付け、湯の滝事業における中期方針について協議を行い、2025年度以降は下記の項目を中心に実施する。

- ① 事業主体の整理と恒常的な運営体制の構築
- ② 収支の均衡
- ③ 利用制度の確立
- ④ 安全管理の充実化
- ⑤ ガイド等による引率要件の整理
- ⑥ 公共交通とアクセスの検討

**議題4** 2025年度の事業計画について（協議事項）

詳細：別紙② 22025年度カムイワッカ湯の滝等利活用促進事業 計画（案）

各事業の実施計画案を示し、次年度の運用について協議した。

① 道道の開通期間

- 道道知床公園線（知床五湖～カムイワッカ）の供用期間は5月30日（金）～10月1日（水）で概ね決定。工事実施のため、昨年同様に例年よりおよそ1か月早く閉鎖。
- 硫黄山登山口のアクセスは、今年度と同様に、事前に道路特例使用承認申請書を提出の上で通行可能とする。実施期間は、道道の開通期間に同じ。

② カムイワッカ湯の滝等利活用促進事業（本格実施1年目）

2024年度の事業の枠組みを基本としつつ、試行事業において取り組みが不十分であった調査および検証事業に取り組む方針を事務局が提案。早期に広報を開始するため、運用スケジュールやマイカー規制期間等の主要事項は優先的に協議し、以下のとおり決定した。

- カムイワッカ湯ノ滝のぼり（アクティビティ）の実施期間は、7月1日（火）～9月30日（火）の92日間
- 知床五湖～カムイワッカ間のマイカー規制期間は、8月8日（金）～8月17日（日）の10日間

③ マイカー規制事業

カムイワッカ現地の混雑緩和と駐車場対策として、マイカー規制を継続する。実施期間は、上記のとおりお盆期間の10日間とする。運行経路や運行スケジュールは概ね昨年度同様とする予定。

④ 路線バス増便事業

知床五湖の渋滞緩和を目的とした自然センター～知床五湖の路線バス増便事業は、昨年度の実施結果から一定程度の効果があることが判明した為、実施する予定。

⑤ 知床ディスタンス！キャンペーン

詳細な実施内容等については検討中。

**議題5** カムイワッカ園地の利用のあり方（協議事項）

カムイワッカ湯の滝利活用事業（試行事業）の終了に伴い、本格運用へと移行するにあたり、カムイワッカ園地全体の利用のあり方についての検討も必要となることから、現時点における事務局の構想案について協議した。

2. 今後の予定

- 6月頃にカムイワッカ地区利用適正化対策協議会を開催し、予算計画の承認を得る予定。
- 7月1日より本格実施1年目となる運用を開始。試行事業において取り組みが不十分であった調査および検証を引き続き進める。